
HP Client Automation Starter and Standard

Windows® オペレーティング システム用

新機能およびリリース ノート

ソフトウェア バージョン : 7.20 / 2009 年 3 月

このドキュメントは、HP Client Automation Starter and Standard (HPCAS) 7.20 での変更点の概要を説明しています。マニュアルやオンライン ヘルプに記載されていない重要な情報を含んでいます。

- [このバージョンについて](#)
- [ドキュメントの更新](#)
- [インストールの注意事項](#)
- [ソフトウェアとハードウェアの要件](#)
- [機能強化と既知の問題](#)
- [サポート](#)
- [ご注意](#)

このバージョンについて

本リリースには、HP Client Automation Starter and Standard の新機能、機能強化、および修正が含まれます。このドキュメントには、ローカライズしたCAS 7.2 リリース（2009 年 3 月から使用可能になる）の参照が含まれます。このローカライズ・バージョンには日本語、中国語（簡体字）、ドイツ語、およびフランス語の翻訳が含まれます。

HP Client Configuration Manager (CCM) は、HP Client Automation Starter and Standard (HPCAS) に名称変更されました。CCM Basic ライセンスで利用可能な機能は、HP Client Automation Starter でご利用いただけます。また、CCM Premium ライセンスでの機能は、HP Client Automation Standard でご利用できます。

注意: 本リリース用の利用可能なパッチをすべて適用してから、**HPCAS 7.20** を実装してください。最新のパッチについては、次の **HP サポート用 Web サイト** を参照してください。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/patches>

ドキュメントの更新

このドキュメントの最初のページには、次の識別情報が含まれています。

- バージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- 発効日。このドキュメントが更新されるごとに変わります。

HP Software 製品マニュアルの Web サイトで、最新のバージョンのリリース ノートを使用しているかを常に確認してください。この Web サイトでは、HP Passport ID とパスワードが必要となります。お持ちでない場合は、次のサイトから登録することができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport サインインのページの **[New users - please register]** のリンクをクリックしてください。

HP Passport ID とパスワードを取得したら、次のサイトへ移動します。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

- 1 [製品] リストから製品名をスクロールし、クリックします。
- 2 [製品バージョン] リストから、バージョン番号をクリックします。
- 3 [オペレーティング システム] リストから、オペレーティング システムをクリックします。
- 4 [省略可能] で、キーワード、フレーズを検索ボックスに入力することができますが、これは必須ではありません。
- 5 検索オプションを選択します。
- 6 ソート オプションを選択します。
- 7 入力した検索条件を満たすドキュメントの一覧が表示されます。
- 8 言語でドキュメントをフィルタすることができます。**[言語を選択 : 英語]** の隣にある下向きの矢印をクリックします。ドロップダウン リストから別の言語を選択します。
- 9 ドキュメントを PDF 形式で表示する場合は、そのドキュメントの PDF ファイル名をクリックします。

注意: PDF 形式 (*.pdf) でファイルを表示するには、お使いのシステムに Adobe Acrobat Reader がインストールされている必要があります。Adobe Acrobat Reader のダウンロード方法については、次の URL を参照してください。 <http://www.adobe.com>。

インストールの注意事項

HPCAS のインストール手順と同様、インストールの要件は、HPCAS メディアにある『HP Client Automation Starter and Standard 管理者ガイド』に記載されています。

ソフトウェアとハードウェアの要件

次の表は、HPCAS 7.20 リリース用のソフトウェアとハードウェアの要件を一覧表示したものです。

表 1 HPCAS 7.20 サポート

					HPCAS SerVer	HPCAS Agent
ベンダー	OS 名	OS のバージョン番号	ビット数	チップセット		
Microsoft	Windows	2000 Prof SP4	32	x86	いいえ	はい
Microsoft	Windows	XP Prof SP2、SP3	32	x86	いいえ	はい
Microsoft	Windows	Vista SP1 Business、Enterprise、Ultimate	32	x86	いいえ	はい
Microsoft	Windows	2000 Server SP4	32	x86	はい	はい
Microsoft	Windows	2003 Server SP2	32	x86	はい	はい
Microsoft	Windows	2003 Server R2 SP2	32	x86	はい	はい
Microsoft	Windows	2008 Server Standard、Enterprise	32	x86	いいえ	はい
Microsoft	Windows	XP Prof SP2、SP3	64	AMD64/EM64T	いいえ	はい
Microsoft	Windows	Vista SP1 Business、Enterprise、Ultimate	64	AMD64/EM64T	いいえ	はい
Microsoft	Windows	2003 Server SP2	64	AMD64/EM64T	はい	はい
Microsoft	Windows	2003 Server R2 SP2	64	AMD64/EM64T	はい	はい
Microsoft	Windows	2008 Server Standard、Enterprise	64	AMD64/EM64T	いいえ	はい

表 2 HPCAS 7.20 シンクライアント サポート

シンクライアント モデル	ベン ダー	OS 名	OS のバージョン番号	ビット数	チップセット
5720	HP	Windows XPe	XPe SP2	32	シンクライアント
5520	HP	Windows CE	CE 5.0	32	シンクライアント
5730	HP	Windows XPe	XPe SP2	32	シンクライアント
5530	HP	Windows CE	CE 5.0	32	シンクライアント
5530	HP	Windows CE	CE 6.0	32	シンクライアント
5725	HP	Debian Linux	Debian Linux 3.1	32	シンクライアント
5735	HP	Debian Linux	Debian Linux 4.0	32	シンクライアント
5135	HP	HP Thin Connect	HP Thin Connect	32	シンクライアント
2000	HP	Windows	Win Vista Business 32、XP SP3		CCI
2500	HP	Windows	Win Vista Business 32、XP SP3		CCI

機能強化と既知の問題

- CAS 7.20 は 2009 年 3 月にリリースされて、日本語、中国語（簡体字）、フランス語、ドイツ語のローケルの翻訳が含まれます。
- サイレント インストール モードを含む、エージェント配布による機能が強化されました。
- 機能を強化することで、HPCAS サーバーとの同期化がインフラストラクチャ サーバーで可能となりました。
- テスト環境で HPCAS を実行するための VMware 要件が、ドキュメントに追加されました。
- [デバイスの詳細] ウィンドウ機能の強化により、[詳細プロパティ] と [前回ログオンしたユーザー] の項目が追加されました。
- [ソフトウェアの詳細] ウィンドウに、インストール前のコマンドライン オプションが含まれました。
- グループの作成に使用する条件が、ダイナミック レポート グループ用の [グループの詳細] ウィンドウに表示されるようになりました。
- [リモート制御] インターフェイスの機能が強化されました。リモート コンソールへのアクセスに、ウィザードを使用しなくなりました。
- 自己監視、分析、レポート技術 (S.M.A.R.T.) のアラートのための設定やレポートが追加されました。
- ブレード サーバー レポートが、新規に追加されました。
- インフラストラクチャの設定が更新されたことで、インフラストラクチャ サーバーに指定のサブネットを割当てる、インフラストラクチャのロケーションが含まれました。
- 多くのウィザードから、不必要な手順が削除されました。
- グループの作成ウィザードが修正され、[表示名] フィールドが可能となりました。
- ジョブ メッセージが改善されました。
- このローカライズ・バージョンでは、一部の英語のテキスト文字列が、次の機能にアクセスするときに表示されます。現在のジョブおよび過去のジョブのメッセージの表示；ジョブ情報を .csv ファイルにエクスポート；SMM のエラー・メッセージおよびサービス・キャッシュの同期のエラー・メッセージ
- ロカライズ版のローカライズしたインストールを実行するには、hpccm.exe を実行する必要があります。hpccm.msi を実行するなら、英語バージョンのインストールのみがアクセスできます。
- 日付はコンソールで YYYY-MM-DD の形式で表示します。

「プログラム・ファイル」という新規フォルダは HP Knowledge Base Server のインストール中に作成されました。

問題：	ドイツ語のローケルでインストールされた場合、HP Knowledge Base Server は「Program Files」という新規フォルダにインストールされます。
原因：	この Knowledge Base Server はこのフォルダを標準インストール パスとして使用します。
回避策：	必要な回避策はありません。

CAS コンソールでは、中国語（簡体字）および日本語のデータ・フィールドのソーティングがサポートされません。

問題：	CAS コンソールでは、中国語（簡体字）および日本語のフィールドのソーティングがサポートされません。
原因：	この機能がこのリリースではサポートされません。
回避策：	既知の回避策はありません

[履歴] ワークスペースでの中国語（簡体字）および日本語の文字列には文法的な誤りがある場合があります。

問題：	中国語および日本語の翻訳には、文字列の連結に変数が含んでいるため、文法的な誤りがある場合があります。
原因：	変数が含んでいる文字列が連結されると、文法的な誤りに致す可能性があります。
回避策：	回避策はありません

日本語とドイツ語のローケルでは、Publisher を使用して .msp ファイルをパブリッシュしますと、テキスト文字列の切り捨てが発生します。

問題：	日本語とドイツ語のローケルでは、Publisher を使用して .msp ファイルをパブリッシュするときに、チェックボックスの選択文字列は切り捨てられました。
原因：	既存のフィールドの長さは不足です。
回避策：	既知の回避策はありません。

CAS コンソールのインストールでの、「削除」ボタンの不正確な参照

問題：	CAS コンソールのアンインストール処理中、「次へ」ボタンではなく、「削除」ボタンの参照が作成されます。
原因：	パネルのテキスト・エラー。
回避策：	[次へ] ボタンを選択して、アンインストール操作を継続します。

WinCE シン クライアント デバイスは、HPCAS インフラストラクチャ サーバーをサポートしていません

問題：	WinCE シン クライアント デバイスは、HPCAS インフラストラクチャ サーバーをサポートしていないため、データ用としてメイン HPCAS サーバーを常に使用します。
回避策：	なし

T5720 Thin Clients と T5730 Thin Clients への展開用イメージのキャプチャ

問題：	T5720 および T5730 のシン クライアント デバイスの両方に展開する単一イメージをキャプチャしたい場合、キャプチャされたイメージを、T5730 用のファクトリー イメージから構築する必要があります。これにより、T5730 に必要なドライバ（T5730 ファクトリー イメージには含まれていない）が確実に含まれるため、T5720 との下位互換性が保たれます。すべての T5730 ファクトリー イメージには、イメージ拡張の実装に必要なユーティリティが含まれています。
原因：	T5720 ファクトリー イメージには両方のデバイスのためのドライバが含まれていません。
回避策：	キャプチャされたイメージを、T5730 用のファクトリー イメージから構築する必要があります。

Xpe シン クライアント イメージのキャプチャと展開

問題：	Xpe シン クライアント デバイス上のイメージをキャプチャし、そのイメージをより大きなフラッシュ ドライブを実装した Xpe シン クライアント デバイスに展開したい場合は、キャプチャしたイメージを、T5720 Softpaq ビルド 323 (sp33234.exe をダウンロードする 2006 年 7 月の 5.1.323 A 28) 以上を使用して作成する必要があります。
回避策：	T5720 Softpaq ビルド 323 (sp33234.exe をダウンロードする 2006 年 7 月の 5.1.323 A 28) 以上を使用してイメージを作成します。

シン クライアント T5135 に、/mnt を拡張する

問題：	T5135 Thin Client (HP Thin Connect を使用する) を使用している場合、エージェントをインストールする前に /mnt パーティションを拡張する必要があります。これを行うと、Image Preparation Wizard メディアでデバイスを起動してパーティションを拡張することができます。この方法には外部 CD-ROM が必要です。以下の回避策の手順に従ってください。
回避策：	<ol style="list-style-type: none"> 1 Image Preparation Wizard メディアを使用して、T5135 デバイスを起動します。 2 OS Manager サーバーの IP アドレスの入力を求められた場合、Alt+F2 キーを押して新しいセッションを開始します。 3 「mount /dev/hda3 /mnt」と入力します。 4 「cd /mnt」と入力し、ディレクトリを /mnt に変更します。 5 次のコマンドを入力し、パーティションをバックアップします。tar -cvf /work/mnt.tar . 6 「cd /」と入力し、ルート ディレクトリに変更します。 7 「umount /mnt」と入力し、/mnt ディレクトリのマウントを解除します。 8 「fdisk /dev/had」と入力し、/dev/hda3 のパーティションを再分割します。 9 それぞれのプロンプト画面に次の値を入力します (太字) 。 <ul style="list-style-type: none"> - Command (m for help): d - Partition number (1-4): 3 - Command (m for help): n - Command action e extended p primary (1-4): p - Partition number (1-4): 3 - First cylinder (36-62, default 36): <Enter> - Last cylinder or +size or +sizeM or +sizeK (36-62, default 62): <Enter> - Command (m for help): w 10 「mkfs.ext2 /dev/hda3」と入力し、/dev/hda3 上にファイル システムを作成します。 11 「mount /dev/hda3 /mnt」と入力します。 12 「cd /mnt」と入力し、ディレクトリを /mnt に変更します。 13 「tar -xvf /work/mnt.tar」と入力し、パーティションを復元します。 14 「cd /」と入力し、ルート ディレクトリを「/」へ変更します。 15 「umount /mnt」と入力し、/mnt ディレクトリのマウントを解除します。 16 Image Preparation Wizard CD-ROM を取り出します。 17 デバイスを再起動します。

T513 Thin Clients で、Image Preparation Wizard を実行する

問題：	T5135 Thin Client（HP Thin Connect を使用する）で Image Preparation Wizard を実行する前に、以下の回避手順に従ってください。
回避策：	<ol style="list-style-type: none">1 /etc/configedit/config.ini のコンピュータ名の行を削除します。2 エージェントをインストールします。3 HP Thin Connect コンソールから、[Settings] をクリックして [Management] タブへ移動し、[Start Altiris] チェックボックスをオンにして、デバイスの再起動後にエージェントが起動するように設定します。

WAIK を必要とする .WIM ファイルのパブリッシュ

問題：	.WIM ファイルをパブリッシュする場合、オペレーティング システム リソースのパブリッシュに使用するデバイスである C:\ ドライブのデフォルトの位置に、Microsoft の Windows Automated Installation Kit (WAIK) をインストールする必要があります。
回避策：	Microsoft の Windows Automated Installation Kit をインストールしてください。WAIK は、Microsoft Web サイトから利用できます。通常の Vista インストールには含まれていません。

モバイル シン クライアント 2533t (Meson) のキャプチャや展開がサポートされていない

問題：	2533t (Meson) モバイル シン クライアント上のイメージのキャプチャと展開機能は、このバージョンではサポート対象外ですが、将来のリリースにてサポートされる予定です。
回避策：	なし

Windows CE エージェントをアンインストールする際に問題が発生する

問題：	マシンの再起動後、コントロール パネルの [プログラムの追加と削除] から Windows CE をアンインストールすることはできません。
原因：	Windows フォルダから HP Client Automation Agent. のアンロード ファイルが不足しています。
回避策：	エージェントを再インストールします。

7.20 への移行後に Settings Migration Manager が削除される

問題：	HPCAS 7.20 に移行すると、エージェントのアップグレードや 7.20 HPCAS サーバーへの最初の接続時に、以前のバージョンの Settings Migration Manager (SMM) はターゲット デバイスから削除されます。
回避策：	最新バージョンの SMM を再展開します。

WinPE SOS が使用しない言語とキーボードの設定。

問題：	言語やキーボードの情報は、WinPE SOS により受け付けられません。CD からの起動時には、PXE の設定ファイルや ROMBL.CFG で定義された設定が、デフォルトにおいて有効であることに注意してください。
回避策：	<p>SOS WinPE で使用する言語や対応するメッセージ カタログを選択するには、PEAPPEND ラインに LAN パラメータを追加します。</p> <p>PXE ブートを使用している場合は、デフォルトの PXE 構成ファイルを開きます。このファイルは、HPCAS メディア、OSManagement\PE\linux.cfg ディレクトリから、お使いの PXE 環境にコピーされます。</p> <p>CD から起動している場合は、新しい ImageDeploy CD を構築するのに使用される rombl.cfg を開きます。</p> <p>PEAPPEND ラインは、次のように表示されます。</p> <p>PEAPPEND initrd=winpe.wim LANG=zh_CN</p> <p>次の値は、言語の変更に有効な値です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • en_US = 英語（デフォルト） • zh_CN = 簡体中国語 • ja_JP = 日本語 • ko_KR = 韓国語 <p>キーボードは英語（en）のままとなります。</p> <p>次を使用して、言語やキーボードのレイアウトを切り替えます。</p> <p>de_DE = ドイツ語</p> <p>fr_FR = フランス語</p>

レポート・サーバーのメモリ・フィルタに関する問題

問題：	数字以外、または空白の値を手動で入力した場合は、レポート サーバーにクエリ実行に関連するエラーが表示されます。
回避策：	数字以外、または空白の値を入力しないでください。有効な値については、[使用可能なフィルタを表示] オプションを参照してください。

レポート・サーバーのメモリ範囲の並び替えが正常に機能しない

問題：	要約レポート、「総数(メモリ別)」のソート順が正しくありません。
原因：	値は文字列として表示されます。
回避策：	なし

レポート グループの名前のカッコにより、不正な検索フィルタのエラーが発生する

問題：	グループ名にカッコ（）を含んだグループを作成すると、グループの操作が正常にできません。
原因：	カッコ（）は、LDAP クエリでは適切に回避されません。
回避策：	グループの作成時にはカッコ（）の使用は避けてください。

UEFI を使用したラップトップで「BIOS CONFIG」の配置が無効（非アクティブ）

問題：	現在の製品のバージョンにおける System Software Manager (SSM) には、UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) を使用したノートブック設定用の BIOS 設定が含まれていません。管理エージェントのインストールに含まれている SSM バージョン 2.0E では、これらデバイスの BIOS 設定はできません。
原因：	HP CA Standard 7.2 のリリース時期には、最新バージョンの SSM (2.0F) の準備が整っていませんでした。HPCA リリース 7.2 が一般に販売される頃には、利用可能になります。
回避策：	UEFI をサポートしている新しい HP ノートブックで BIOS の設定管理が必要な場合は、HP サポート サイトから新しい SSM ソフトウェアをダウンロードし、Softpaq のパブリッシュと展開に関連する HPCA Standard ドキュメントに記載されている方法で展開する必要があります。

HPCAS を削除または移行すると、\Novadigm 内にファイルが残ってしまう。

問題：	新しいドライブへの移行またはインストール時に、HPCAS の削除や移行をすると、\Novadigm 内にファイルが残ります。
原因：	アンインストール時に使用していたサービスにより、インストール後にログ ファイルが残ります。
回避策：	アンインストール後に手動でファイルを削除します。

デバイス探索ジョブや不正な資格情報をキャンセルすると、rmp mc の誤りが見えるようになる。

問題：	いくつかのメッセージは解決されず、代わりにジョブ詳細インターフェイス内のメッセージ カタログ キーを表示します。
原因：	メッセージ カタログ エントリが解決されていません。
回避策：	なし

インフラストラクチャ ジョブ メッセージを変更する必要がある

問題：	インフラストラクチャ サービスの配布と削除のジョブの両方の詳細に、「HPCA Management Agent のインストールと設定」という同じメッセージが表示される。
原因：	メッセージ カタログ エントリの問題です。
回避策：	なし

前回ログオンしたユーザー情報が、64ビット Windows Longhorn 物理 m/e 用に更新されない

問題：	前回ログオンしたユーザーが、64 ビットのオペレーティング システムからキャプチャされません。
原因：	前回ログオンしたユーザーのレジストリ キーが不足しているか無効です。
回避策：	なし

手動でインストールしたエージェントの削除が失敗。ジョブ・ステータスは正常。

問題：	エージェント削除ウィザードを使用して、手動でインストールしたエージェントを削除しようとすると、エラーによりジョブが終了する。
原因：	Windows では正常にレジストリ キーが更新されません。
回避策：	なし

パッチ管理では、インストールしたデバイス情報が精密ではない

問題：	管理インターフェイスでパッチをインストールした列は、レポート インターフェイスのパッチ適合性レポートと一致しない場合があります。
回避策：	レポート インターフェイスを使用して、デバイス パッチの適合性と、どのデバイスにどのパッチがインストールされたのかを確認します。

I18N: 非 ASCII 文字を含む admin ID を使用すると Publisher にログインできない

問題：	非 ASCII 文字を含む admin ID を使用すると、Publisher に正常にログインできません。
回避策：	Publisher には ASCII admin ID を使用してください。

I18N の使用：最終収集時刻がローカルのシステム時刻と一致しない

問題：	レポート接続の時刻がジョブの開始時刻と一致しない場合があります。
原因：	レポート時刻は GMT で表示され、コンソールの時刻はローカルの時刻で表示されています。
回避策：	なし。将来の機能強化では、レポートで時刻の変更ができるようになります。

Vista でのインフラストラクチャの削除ジョブでエラーが表示される

問題：	インフラストラクチャの削除ウィザードを使用してインフラストラクチャ サービスを削除する場合、Vista デバイスをターゲットにすると、ジョブが失敗になることがあります。
回避策：	特に必要なし。インフラストラクチャ サービスは削除されますが、ジョブはエラーをレポートします。ジョブが正常に終了したかどうかを確認するには、システムを手動で検証する必要があります。

インフラストラクチャ・サービス・レポート：すべての同期化でのレポート時刻が、00 と表示される

問題：	アプリケーション イベント レポートのインストール時刻で、時間を確認し、イベント発生時刻に 00 が表示されている時刻をすべて削除します。
原因：	これはサーバーのタイムゾーンが、GMT E.g. 1/2 オフセット、または 1/4 オフセットという全体のオフセットでない場合に発生します。
回避策：	なし

メモリ未満、またはメモリ以上でのレポート データのフィルタが誤作動する

問題：	レポート サーバーのフィルタより少ないメモリ、あるいはそれ以上のメモリを使用すると、正常に作動しません
原因：	フィルタは、それ以上のメモリとして、またはそれ未満のメモリとして作動します。
回避策：	上記のガイドラインのフィルタを使用して、希望する結果が得られるようにします。

CCM 2.0 から HPCAS 7.20 への移行時に、必要なクラスが削除される

問題：	Client Configuration Management (CCM) バージョン 2.0 から HPCAS 7.20 への移行時に、このプラットフォームを実行するために使用されていたツールが、保存されるはずのクラスやインスタンスをデータベースから誤って削除してしまいます。これにより、これらのクラスやインスタンスに依存する製品の機能が壊れてしまいます。
原因：	データベース内のクラスの配線は、RadDBUtil ツールがダイナミック接続に従う状況を設定し、RadDBUtil はクラスのダイナミック接続を削除します。
回避策：	CCM 2.0 から HPCAS 7.20 への移行を実行する前に、使用する RadDBUtil の最新バージョンを入手します。最新バージョンの RadDBUtil では、これらのタイプの接続の処理が修正されています。移行ガイドに従い、古いデータの復元を実行する前に、新しい raddbutil をコピーし、\novadigm\configurationserver\bin フォルダにあるものと置き換えてください。完了したら、データの復元を実行することができます。

WinPE SOS 実行時に「ブート操作が失敗しました」というメッセージが表示される

問題：	繁体字中国語などの国際化されたプラットフォームで WinPE サービス OS から Windows ベースのイメージを展開した場合、システムが最初に Linux サービス OS を起動すると、エラーが発生する場合があります。
原因：	Linux サービス OS が、OS サービスを展開できない場合に発生することがあります (WinPE で展開する必要がある WIN イメージなど)。国際化された OS のサービス名やハードウェアの設定 (LME) 名を参照するいくつかのイメージの展開やハードウェアの設定要素は、WinPE サービス OS に対し最初にシステム起動される必要のある WinPE サービス OS にて処理され、国際化された OS やハードウェア構成オブジェクト名の識別して対応する必要があります。
回避策：	CA インフラストラクチャにより提供されたハードウェア設定要素 (LME) と OS のサービス名を含む XML ドキュメントは、WinPE サービス OS と Linux サービス OS とを切り替えられるときに、一貫してエンコーディングされません。

すぐにエージェント・デバイスを再起動しないと、ジョブが休止状態にならない。

問題：	再起動設定が「ユーザーに確認してインストール後に再起動する」に設定されている複数のアプリケーションを展開する場合、エージェントが 4 分以内に再起動しないと、エラーが表示されてジョブが終了し、それに続く通知は実行されません。
回避策：	再起動設定として、「ユーザーに確認せずにインストール後に再起動」を使用します。

CCM_TPM_ENABLEMENT を Windows Vista の 64 ビットでは展開できない

問題：	TPM Enablement は、64 ビットのシステムや、英語の[Program Files] フォルダを使用しないシステムでは作動しません。
原因：	ハード コーディングされた [Program Files] フォルダがインストール時に使用されます。
回避策：	なし

OS ジョブの送信後、Windows CE からの応答がない

問題：	OS ジョブの送信後、Windows CE からの応答がない。
原因	イメージ展開後の最初の起動時に radexecd デーモンが開始していません。
回避策：	<p>Management Agent を Windows CE 5.0 デバイスにインストール後、Image Preparation Wizard の実行前に、起動フォルダから通知デーモンにリンクを作成する必要があります。Windows Explorer を使用して、これを行うことができます。</p> <ol style="list-style-type: none">1 「\hard disk\Program Files\HP\OVCM\radexecd」をコピーします。2 ショートカットを「\hard disk\StartUp」フォルダへ貼り付けます。3 ショートカットの名前を「Shortcut to radexecd」から「radexecd」に変更します。4. デバイスを再起動します。 <p>これらの手順は、Windows CE 6.0 へは適用されません。</p>

スパンされたイメージは、現在キャプチャされた .WIM イメージをサポートしていない

問題：	スパンされたイメージは、現在キャプチャされた .WIM イメージをサポートしていません。
回避策：	<p>スパンされたイメージは現在このイメージ タイプをサポートしていないため、キャプチャされた .WIM イメージは、4 GB 以下に制限されています。 .WIM イメージをキャプチャするときには、デバイスにファイル システムと同じ量の空きスペースが必要です。4 GB 制限以内で作業するために、使用スペースを 4 GB 以下にすることを勧めます。空きスペースは 4 GB 以上が必要です。使用スペースが 4 GB 以上の場合は、不要なデータ（一時ファイルやログ ファイルなど）をドライブからすべて削除して .WIM ファイルに含まれる使用スペースを最小限に抑えてください。例えば、x86 Vista Enterprise と Office 2007 Enterprise をインストールしている .WIM ファイルでは、約 3GB になります。</p>

ローカル言語のサポート

HP Client Automation Starter and Standard (CAS) 7.20 リリースでは、次のローカライズ・バージョンのソフトウェア・コンポーネントは日本語、中国語（簡体字）、ドイツ語、フランス語が使用可能です。

- HP Client Automation Starter and Standard 管理者ガイド
- HP Client Automation Starter and Standard リリース・ノート

サポート

次の HP Software Web サイトを参照してください。

www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

この Web サイトでは、HP Software が提供する製品、サービス、サポートに関するお問い合わせ情報が掲載されています。

HP Software オンライン ソフトウェア サポートでは、お客様自身が問題を解決するのに有益な情報を提供します。ビジネスを管理するのに必要な、対話型技術サポート ツールにアクセスする、素早く効率的な方法を提供しています。サポートを受けるお客様は、サポート サイトを使って以下のことができます。

- 関心がある知識ドキュメントの検索
- サポート事例および機能強化リクエストの提出とサポート状況の追跡
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート連絡先の確認
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- 他のソフトウェア顧客とのディスカッションへの参加
- ソフトウェア トレーニングの検索と登録

サポート エリアのほとんどでは、HP Passport ユーザーとして登録し、サインインする必要があります。

アクセス レベルに関する詳細については、次を参照してください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Passport ID に登録するには、次を参照してください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

ご注意

©Copyright 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

コンピュータ ソフトウェアの機密保持。所有、使用、または複製を行う場合には、**HP** からの正規のライセンスが必要です。**FAR 12.211** および **12.212** に従い、商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア ドキュメンテーション、および市販品の技術データは、各販売業者の標準営業許可のもとに米国政府にライセンスされています。

HP の製品およびサービスで保証されるのは、製品およびサービスに添付される明確な保証文で説明されているものだけです。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、**HP** はいかなる責任も負いません。

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

サードパーティ ライセンス契約に関する詳細は、製品のインストール **CD-ROM** を参照してください。

Linux は、**Linus Torvalds** の登録商標です。

Microsoft®、**Windows®**、および **Windows® XP** は、**Microsoft Corporation** の米国における登録商標です。

OpenLDAP は、**OpenLDAP Foundation** の登録商標です。

PREBOOT EXECUTION ENVIRONMENT (PXE) SERVER
Copyright © 1996-1999 Intel Corporation.

TFTP SERVER
Copyright © 1983, 1993
The Regents of the University of California.

OpenLDAP
Copyright 1999-2001 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA.
Portions Copyright © 1992-1996 Regents of the University of Michigan.

OpenSSL License
Copyright © 1998-2001 The OpenSSLProject.

Original SSLeay License
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

DHTML Calendar
Copyright Mihai Bazon, 2002, 2003